

環境・安全レポート

2024年



目 次

	頁
工場長ご挨拶 . . .	2
三菱ガス化学の概要 . . .	3
四日市工場、浪速製造所及び佐賀製造所の概要 . . .	4
社会の中のMGC製品 . . .	5
RC・品質方針 . . .	6
RC品質活動計画 . . .	7
労働安全衛生 . . .	12
保安防災 . . .	15
環境保全 . . .	16
地域の皆様とともに . . .	21

工場長ご挨拶

三菱ガス化学グループでは、「社会と分かち合える価値の創造」をミッションとして掲げており、社会の信頼と共感を得るとともに、事業活動を通じて企業価値の向上はもとより、SDGsの達成、ひいては持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。

その中において、私たち四日市工場、浪速製造所、佐賀製造所の3場所では、「事業活動の最優先は安全の確保」という安全理念のもと、化学製品の開発から製造、流通、消費を経て廃棄に至る製品ライフサイクルにおいて、「環境、安全、健康」を確保し、事業活動を地球環境の保護に調和させるレスポンシブル・ケア（RC）活動に積極的に取り組んでいます。

レスポンシブル・ケア活動は、労働安全衛生、保安防災、環境保全、化学品・製品安全、物流安全、社会との対話が基本です。私たちも、従業員一人一人が、自らの安全行動を宣言し、実行する活動を全員参加で行うとともに、環境保全のために温室効果ガスの排出削減に取り組みや保安防災のための防災訓練の実施、また清掃活動や自治会とのコミュニケーション強化など地域との交流・対話を進めています。今後も地域社会と共存すべく皆様にご信頼を賜り、社会に貢献できる工場であり続けるよう、これまでも増してRC活動を3場所従業員一丸となって充実させていく所存です。

本レポートは、四日市工場3場所の昨年一年間のRC活動実績・成績を具体的に報告致しております。是非ご一読頂き、私どもの活動に対して、ご理解、ご支援賜れば幸いです。



執行役員四日市工場長

西村喜男

三菱ガス化学の概要

社名	三菱ガス化学株式会社
本社所在地	〒100-8324 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル
創業	1918年（大正 7年）1月15日
設立	1951年（昭和26年）4月21日
資本金	419.7億円（2024年3月末現在）
従業員数	単体：2,486名、【連結：7,918名】（2024年3月末現在）

事業所
本社、東京研究所、新潟研究所、平塚研究所、MGC Commons
新潟工場、水島工場、山北工場、鹿島工場、
四日市工場、浪速製造所、佐賀製造所
QOL イノベーションセンター白河



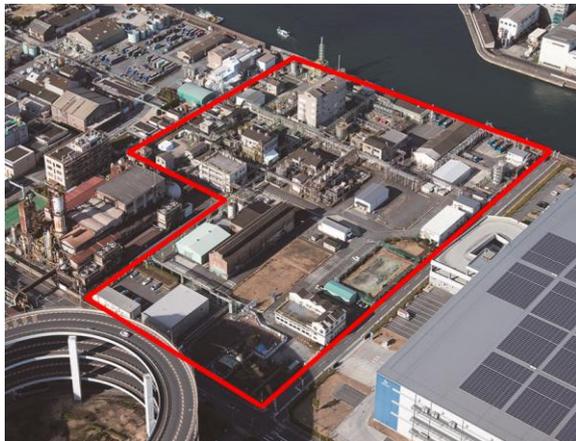
四日市工場、浪速製造所及び佐賀製造所の概要

【四日市工場】



所在地 三重県四日市市日永東2-4-16
操業開始 1963年
従業員数 173名（2024年10月時点）
敷地面積 185,000 m²
主要製品 過酸化水素
超純過酸化水素
水加ヒドラジン
ELMクリーン
オリゴフェニレンエーテル

【浪速製造所】



所在地 大阪府大阪市大正区船町1-3-27
操業開始 1951年
従業員数 39名（2024年10月時点）
敷地面積 39,000 m²
主要製品 レンズモノマー

【佐賀製造所】



所在地 佐賀県佐賀市富士町上熊川681-45
操業開始 1986年
従業員数 15名（2024年10月時点）
敷地面積 26,500 m²
主要製品 超純過酸化水素

社会の中のMGC製品

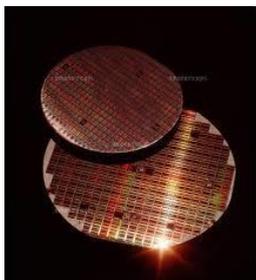
家庭やオフィスにある身近な製品に、MGC四日市工場（浪速製造所、佐賀製造所を含む）製品が使用されています。

四日市工場



過酸化水素

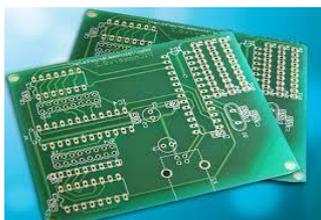
紙パルプ・繊維の漂白、各種工業薬品原料、水処理および殺菌などに使用されています。



超純過酸化水素

ELMクリーン

電子機器に内蔵されている半導体製造時の洗浄剤・エッチング剤等に使用されています。



オリゴフェニレンエーテル

高速通信用基板における積層板を作るための材料として使用されています。



水加ヒドラジン

合成樹脂用発泡剤原料、ボイラー用還元剤、冷却塔の水処理剤および医薬・農薬原料として使用されています。

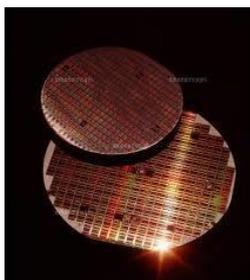
浪速製造所



レンズモノマー

メガネレンズに使用されています。屈折率が高いことから薄くて軽いメガネになります。

佐賀製造所



超純過酸化水素

電子機器に内蔵されている半導体製造時の洗浄剤・エッチング剤等に使用されています。



RC・品質方針

三菱ガス化学株式会社 四日市工場は、社会との共生のため、
安全・安心・安定操業を目指して事業活動を展開します。

- 1 企業としての社会的責任を認識し、法令・規則・協定・
社会規範を順守します。
- 2 安全作業の基本を守り、無事故・無災害の継続をめざ
します。
- 3 安定した高品質の製品を継続的に提供し、顧客満足の
向上と信頼を獲得します
- 4 環境に及ぼす影響を的確に把握・評価し、環境負荷の
低減に努めます。
- 5 上記1から4までの活動を全員参加で行うとともに
継続的改善を目指した活動とします。

2024年4月1日
三菱ガス化学株式会社
執行役員 四日市工場長

西村 喜男

RCとは：レスポンシブル・ケア（Responsible Care）は、化学物質の開発から製造、流通、
使用、最終消費を経て廃棄に至る全ライフサイクルにわたって、「環境、安全、健康」
を確保し、事業活動を地球環境の保護に調和させる自主管理活動です。

 三菱ガス化学株式会社

R C 品質活動計画

事業所基本方針： 事故ゼロ・災害ゼロと環境保全

事業所管理目標： 事故ゼロ・災害ゼロの達成（完全無災害の達成と事故等の削減）、安全性の向上（危険ゼロ、ヒューマンエラー低減）の取組推進、環境管理の徹底（GHG、P R T R、廃棄物削減）

	基本方針	活動目標 o r 計画	具体的実施事項
労働安全衛生	操業における健康と安全の確保	(1) ヒューマンエラー撲滅の推進（漏洩事象の撲滅に資する取り組み推進）	(1)-1 現場での事前 K Y 励行、作業前の安全確認の励行 (1)-2 職場の情報と認識共有；手順書（基準・標準・O P L S）へのノウハウの織り込み（協力会社も含む） (1)-3 現場設備の見える化の実施 (1)-4 組織診断の実施と診断結果に基づく対応の展開 (1)-5 ヒューマンエラー対策教育（ハザード気づき発信、体験教育、安全講話・集会）の実施 (1)-6 類似災害の再発防止と水平展開活動（L I N K）の展開
		(2) 「墜落・転落・転倒」災害撲滅への取り組み推進（車輛上作業時の転落防止策、作業スペースの安全な作業場所の確保）	(2)-1 車両（ローリー等）上部作業時の転落防止設備の配備充実 (2)-2 作業スペース、安全通路の適正化（段差、凹みの回収、手摺の追加等）の推進 (2)-3 転落・墜落・転倒リスクの高い箇所への表示の充実
		(3)-1 協力会社への関りの強化と、安全組織活動体を通じた災害防止への取り組み継続 (3)-2 省力化、エイジフレンドリー化につながる職場環境の改善	(3)-1 各部署の構内協力会社との情報共有会議（定例会、分科会）の運営継続 (3)-2 職場安全会議の共同参画等による踏み込んだ安全の認識共有（エイジフレンドリー対策を考慮） (3)-3 構内協力会社を含めた工場の安全教育の招待 (3)-4 安全衛生協会活動を通じた労災撲滅の取り組み (3)-5 構内協力会社への安全指導を趣旨とした人材派遣（出向）の検討
		(4) 職場環境の環境調査・把握と改善の取り組み推進	(4) 労安法の改正に伴う、化学品管理の取り組み（化学品 RA、作業環境測定）の推進
保安防災	現場における保安と安心の確保	(1) 漏洩現象の撲滅につながる取り組みの展開（設備機器の点検の充実、作業実態の把握と対策検討、生産設備状況把握と資料の整備、設備保全の強化、日常的・計画的設備管理）	(1)-1 過去事例、他社事例を踏まえた漏洩防止活動の推進（情報共有、スポット放送、現場の表示強化等） (1)-2 日常的設備管理の強化（異常の早期発見と対処） (1)-3 設備保全の不具合課題抽出と課題解決の策定と具体の展開（保全対象の優先順位付けを含む） (1)-4 設備機器の点検の充実（C U I 調査、F C R 検査の実施） (1)-5 必要な設備仕様（技術基準）の明確化 (1)-6 設備管理資料の最新版化（P & I D、機器リスト等） (1)-7 M G C 保安防災ガイドライン、M O S M O S ツールの活用 (1)-8 自主保全教育の実施（電装、回転機、静機器）

	基本方針	活動目標 o r 計画	具体的実施事項
		(2) プロセス監視機能の充実	(2)-1 アラームマネジメント強化 (2)-2 制御システムの機能向上 (2)-3 ながら運転防止のための対策立案と実行
		(3) プロセスRA実施による安全性向上の推進	(3) 新規計画案件並びに既存プロセスのHAZOPの実施と対策の展開
		(4) MGCスマートファクトリーに向けた取組の推進	(4)-1 BD-CUBE（日立ハイテクソリューションズ社）によるプラント異常予知検知への取り組み (4)-2 3Dビューアー（日揮：INTEGRANCE）による現場作業効率化への取り組み (4)-3 自動弁異常予兆検知（KISMOS、Valstaff）の取り組み (4)-4 業務の自動化（RPA）導入検討の継続
		(5) 確実な安全保安防災及びそのための教育・訓練の展開	(5)-1 保安防災上の危険源の特定および安全を担保する対応 (5)-2 外部機関による組織診断と必要な安全教育等の施策の展開 (5)-3 工場に適用される法令教育（4回/年以上） (5)-4 層別教育（若手層、中堅層、管理者層）の展開 (5)-5 協力会社を含めた体験型階層別教育の展開
		(6) 自然災害への必要な準備体制の整備	(6)-1 緊急防水対策の準備（水囊の配備、防災無線アンテナ線の高層階化、回収用具（オイルフェンス等）の配備） (6)-2 工場排水路の排水能力の向上への取り組み（実態調査と資料の整備） (6)-3 高圧ガス施設の緊急時のハード対策の検討
		環境負荷の削減と持続可能な社会発展への貢献	環境負荷の削減と持続可能な社会発展への貢献
(2) 廃棄物（廃プラ含む）の削減	(2) 廃棄物の分別徹底、およびリサイクルの推進 ・廃棄物排出量2019年比 3%削減 ・廃棄物ゼロエミッション率 2024年度目標：0.03%以下を継続 ・廃棄物（廃プラ）の有価物化への取組		
(3) 環境に影響する要因に対する継続した改善の取り組み	(3) PRTTR物質の排出量の削減テーマの推進 ・PRTTR原単位 2019年基準 10%削減		
(4) 生物多様性保全の取り組み	(4) 工場クリーンダーの取組み継続と既存植栽（緑地）の維持管理と整備		
(5) EMSシステムの適正な運用	(5) EMS文書の見直しと必要な改定の推進		
化学品・製品安全	化学品の取扱・使用・廃棄における安全の確保		
		(2) 取扱い物質の安全教育	(2) 各部署の取扱い化学物質の危険性の把握と安全教育（SDS教育を含む）の実施
		(3) 労安法の改正に伴う化学物質管理の強化	(3) 厚労省により追加表明された化学物質の化学品RAの実施と必要な対応策の実施

	基本方針	活動目標 o r 計画	具体的実施事項
物流安全	原料・製品の物流における安全の確保	(1) 輸送部会活動推進（物流事故、労災等の削減）	(1) 輸送部会を通じ、物流事故・労災等の原因解析、認識共有と再発防止の為にトラブル防止活動（水平展開とR A実施による予防対策検討）を展開
		(2) 充填・荷役に関する労災、事故・異常の削減	(2) 協力会社と共に、構内の充填荷役作業に関わる責任区分の明確化と作業手順の確立検討を進める
		(3) 保安協定書の見直し改定、及び新規締結の推進	(3) 締結済み内容と現状との相違の有無の確認 ・新規納品先；営業を通じ保安協定書締結を確認 ・原料受け入れに関する保安協定の締結の推進
社会との対話	ステークホルダーからの信頼醸成	(1) 工場環境安全レポートの発行継続	(1) Y F 環境・安全レポートの発行（2024年版 10月目途）
		(2) 外部（I S O、顧客）からの審査の受入れ	(2) 審査の受審と指摘事項への建設的な対応の実施
		(3) 社会・環境への貢献活動への参加と地域社会との対話の推進	(3)-1 R C地域対話活動への参加（四日市R C連絡会） (3)-2 地域活動・行事への積極的関与（参加） (3)-3 四日市コンビナート地域防災協議会及び四日市地域環境対策協議会を通じた活動の連携
R C全般	M G Cグループとしての環境・安全活動の推進	----	----
	環境・安全管理システムの継続的改善	(1) Y F 以外の災害情報（グループ会社、四日市コンビナート地域協議会、各種団体）や全社的な環境安全関連会議体等の情報の共有	(1)-1 各種の災害情報の共有と、必要な水平展開活動の推進 (1)-2 他工場R C監査や安全衛生委員会等へのオブザーバー参加を通じた情報交換の推進
品質	リーダーシップ	(1) リーダー主導による品質マネジメント実施計画の立案、周知、推進、実現	・各部署にて「品質マネジメント実施計画」を立案し、「四日市工場2024年度R C品質活動計画」に取りまとめて活動する。進捗及び実績の確認はR C品質委員会で行う ・マネジメントレビューを2025年3月に行う
		(2) Q-M G C及び品質マネジメント実施計画実現のための必要な資源（人々、インフラ、環境）の明確化及び確保	・Q-M G C及び品質マネジメント実施計画実現のために必要な資源（人々、インフラ、環境）を明確にする （各活動計画に対して、必要な資源は何かを具体的に考える）
	顧客重視	(1) 納入仕様書D B（データベース）の運用	・事業部と連携して納入仕様書D Bを運用する。
		(2) 納入仕様書D B（k i n t o n e）への過去データ登録	・環安品証部と連携してY Fで管理している納入仕様書を登録する
		(3) 監査計画に基づく確実な監査の実施（監査困難な場合の対応も含む）	・監査計画に基づき、品質監査を実施する

	基本方針	活動目標 o r 計画	具体的実施事項
		(4) 委託先、仕入先に関する変更管理ルールの見直し	・委託先、仕入先に関する変更管理ルールの運用・見直しを実施する
人々の積極的参加		(1) 階層別品質教育の確実な受講	・提供される階層別品質教育を受講する ・従業員を対象に、品質に関する教育を実施する ・内部監査員有資格者を対象に、力量向上を図るための外部機関による教育を実施する
		(2) 自部門の品質保証に関する教育の実施	・顧客QMS、環境管理物質に関する教育を実施する
		(3) 定期的な品質会議の実施と内容の充実、記録の保管	・事業部主催の会議に出席する ・工場内は品質定例会議を開催する。
		(4) 部署内の情報共有及び記録の保管・共有化	・工場内はRC品質委員会、部署内は職場集会で情報共有する
プロセスアプローチ		(1) 顧客へのSDS最新版配布、SDSの版管理、安全性試験結果報告書の保管などのPL対策	・顧客へのSDSの配布は事業部対応を基本とするが、工場内の部署が（特に研究開発部が開発品の）SDSを配布する場合は、対応部署はPL対策（具体的にはSDSが最新版であることを環保に確認し、リストを作成して配布管理する運用）を確立する
		(2) 製造物責任法についての教育実施及び受講	・HO環安品証部から提供される教育を受講する
		(3) 変更管理に関して、顧客との契約・取り決めと齟齬が生じない仕組みの構築・運用。もしくは見直し・再構築・運用	・変更管理に関して現在の運用を継続するが、適宜、見直し・再構築を実施する
客観的事実に基づく意思決定		(1) 品質データ集約システムの導入対応	・品質データ集約システムの導入を完了する（2024年4月完了予定）
		(2) 確実な工場内部監査の実施及び第三者認証機関監査の受審による弱みの改善及び強みの伸長	・内部監査及び審査の結果は、RC品質委員会または管理職ミーティングで工場内に共有し、改善に繋げる
		(3) 主管する関係会社の状況把握及び必要な支援の実施（品質監査以外 例_品質会議等）	・協力会社との定例会議を開催する
改善		(1) 導入したシステムの活用及び最適化	・導入したシステムの運用を実施し、最適化を図る
		(2) 品質監査・品質会議で指摘された事項への確実な対応・改善	・RC品質委員会、内部監査及び品質定例会議でフォローを実施する
		(3) 品質監査で抽出された良好点の共有	・RC品質委員会あるいは管理職ミーティングで周知する

	基本方針	活動目標 o r 計画	具体的実施事項
	関係性管理	(1) 関係会社の品質監査・担当者連絡会議の実施、及び結果に基づく支援	・関係会社の品質監査を実施する
		(2) 関係会社の品質監査で抽出された良好点の共有	・関係会社の品質監査で抽出された良好点を、RC品質委員会あるいは管理職ミーティングで共有する
		(3) 顧客要求による該非調査報告書の作成・管理状況の整理・把握（chemSHERPA、紛争鉱物、ハラール認証、エコテックス認証等）	・顧客要求による該非調査報告書の作成・管理状況の整理・把握を実施する
		(4) 現状に適したシステムの探索・検討	・対象外

労働安全衛生

■安全成績

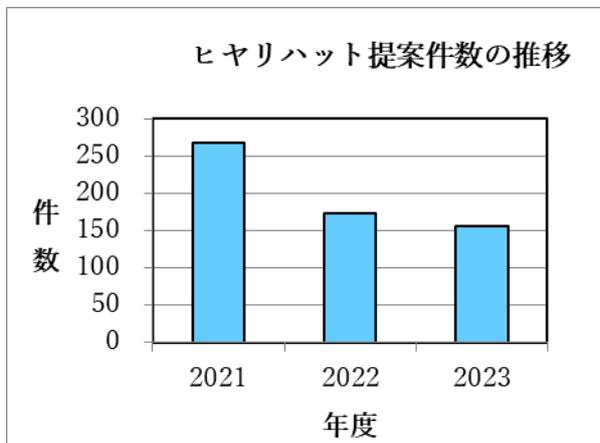
四日市工場（浪速製造所、佐賀製造所を含む）の安全成績は以下のとおりとなります。
2009年以降、休業災害は発生しておりません。これからも無災害継続を目指して、5S活動、危険予知訓練（KYT）、ヒヤリハット提案活動及び指差呼称など日常的な安全活動に取り組んでいきます。



- ※ 休業とは、「負傷または疾病の療養のために被災日の翌日から休業せざるを得ないような労働災害」のことを指します。
- ※ 不休業とは、「業務遂行中に業務に起因して受けた負傷又は疾病によって、医療機関（事業所内の診療所等を含む）で医師の手当てを受け、被災日の翌日以降1日も休業しなかった労働災害」のことを指します。

■ヒヤリハット提案活動

四日市工場、浪速製造所及び佐賀製造所では、全員参加の取り組みとして安全に関する感性の向上を目指したヒヤリハット提案活動を推進しています。



■労働安全衛生への取り組み（高所作業での墜落災害防止措置）

四日市工場では、『墜落災害防止措置』として、1.5 m以上の高さを高所と規定しています。高所作業時には、作業床を設置又は、墜落制止用器具の着用を義務付けて作業を行なっています。また、タンクローリーなどに昇降する高所での作業においても、親綱、セーフティブロック、渡り付き架台等を使用した安全対策を図っています。

【作業床の設置】



【親綱 + セーフティブロック】



【渡り付き架台】



■今年度のT P M活動について

昨年10月より、T P M活動の第2期（2年目）が開始されました。第2期スローガン「些細な気づきが大きな変化、意識が変われば設備もかわる みんなで築くT P M」の下、サークルの総数は31サークル、登録人数169人の活動となりました。3ヵ年での活動計画の2年目にあたりますが、各サークルとも継続性のあるテーマに対して計画的に取り組んでおり、期待された成果を挙げていました。

9月に行われたT P M発表会では、選ばれた9サークルがそれぞれの成果について発表し、第一製造課の「超安新」サークルが1位に選ばれました。西村工場長の表彰総括では「業務多忙の中でT P M活動を積極的に進めて頂きありがたい。全体として良い成果が出ている。O P L Sだけでなく製造現場への実技教育の実施など、工場全体の保全力を高める活動は高く評価すべき内容である」と評価されました。

また、T P M発表会とは別に、全サークルを対象に西村工場長によるトップ診断が行われ、保全データを収集・活用し、実際に故障を減少させている活動が評価された「静機器サークル（工務課）」が工場長賞を受賞しました。



発表1位：サークル名「超安新」（第一製造課）の発表

■来年度のT P M活動について

2024年10月より、第2期（3年目）の活動が始まります。第2期の最終年を迎えますので、第2期の目的・目標達成に向けて各サークルの活躍が期待されます。

昨今、工場を取り巻く環境は向かい風ばかりでしたが、場内では新しいプラントの建設が開始されるなど、明るいニュースも入ってきています。現在の工場は高収益・高成長の機能製品工場へと再生している過程にあります。明るい未来を築くため、このままT P M活動を深化させ、工場の活性化に取り組んで参ります。

T P M (Total Productive Maintenance)とは、製造工場および設備におけるロスをゼロにすることを目的とした、製造業やプラント産業における設備管理と生産性維持のためのマネジメントシステムです。

保安防災

■防災訓練

万が一、事故が発生した場合に備えて、協力会社と連携して火災想定及び地震想定での防災訓練を実施しています。

【四日市工場】



【浪速製造所】



【佐賀製造所】



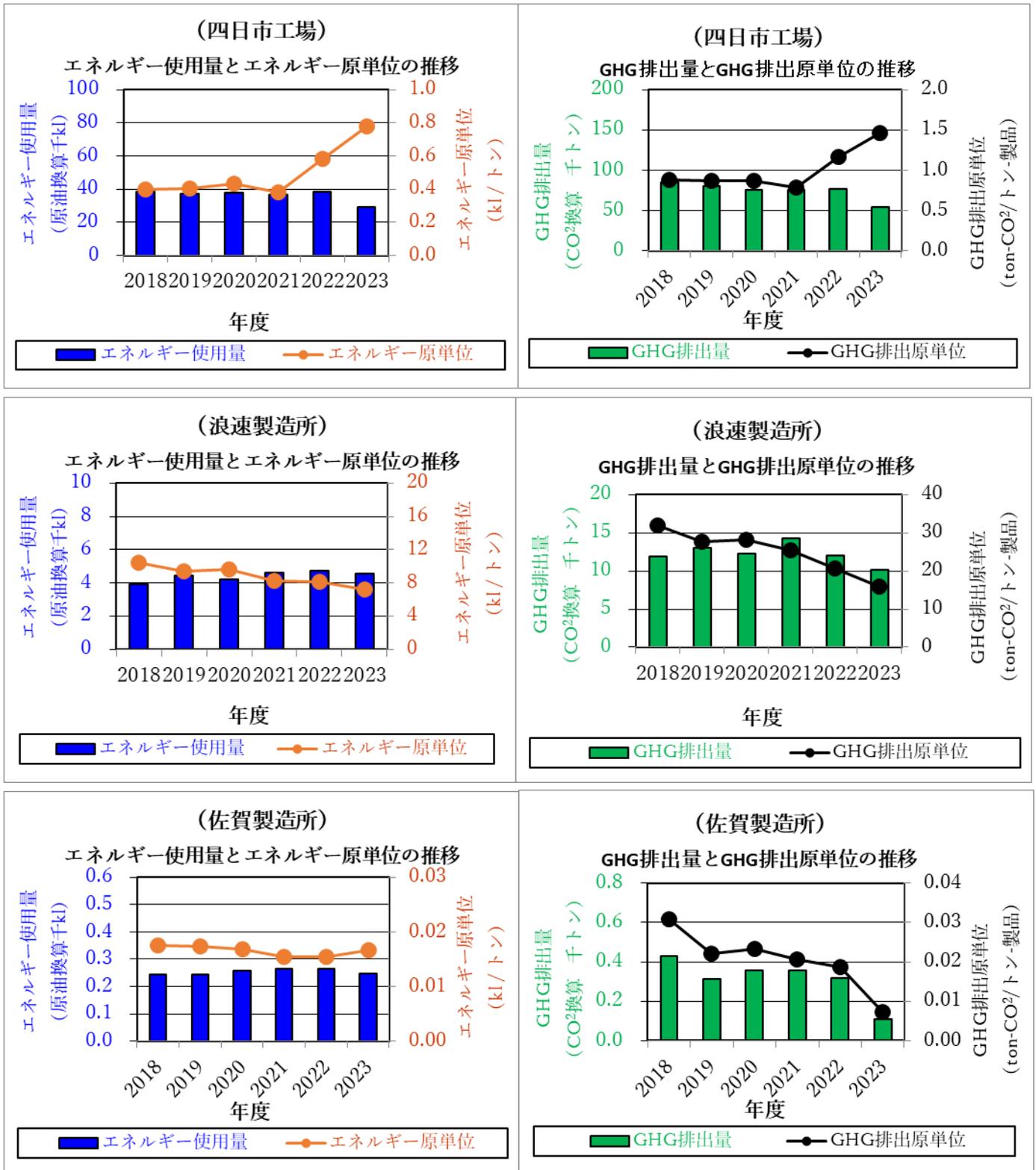
■緊急時対応訓練

各部署では、自部署内で想定される緊急事態に対する対応手順を作成しており、その手順に基づき緊急時対応訓練を実施しています。

環境保全

【地球温暖化防止の取り組み】

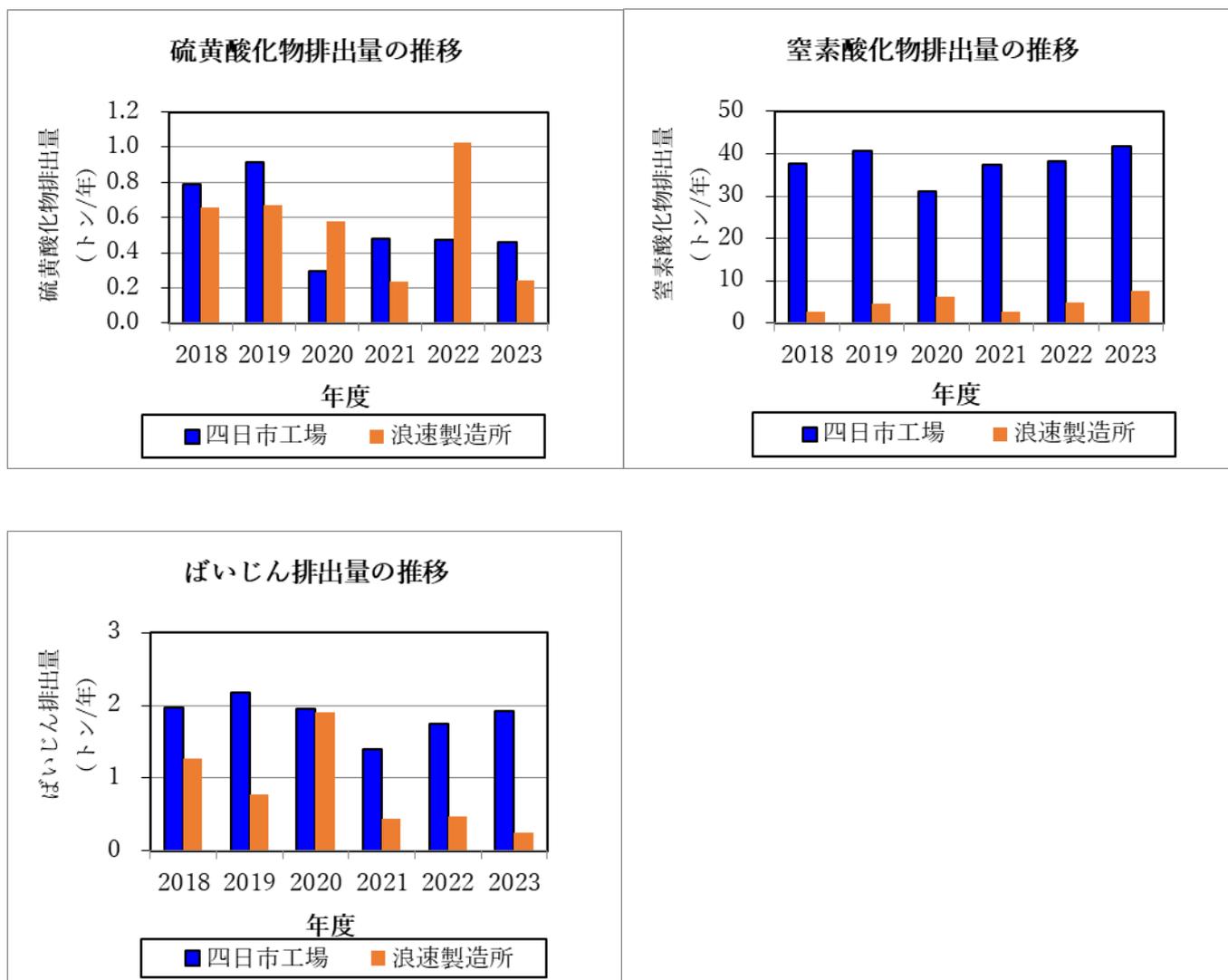
エネルギー及び排出温室効果ガス（GHG）の原単位低減に向けた取り組みとして、A重油から都市ガスへの燃料転換を完了しました。また照明のLED化及びエアコン等更新に伴う特定フロンから代替フロンへの切り替えに取り組んでいます。尚、四日市工場においては2023年より新規事業誘致やプラント停止を含む事業再編成を行っており、エネルギー原単位は増加となりました。



- ※ エネルギー原単位とは、「製品1トンを作るのにどのくらいのエネルギーが必要となるかを示す指標」のことを指します。
- ※ GHG排出原単位とは、「製品1トンを作るのにどのくらいの二酸化炭素等の温室効果ガス（GHG：Greenhouse Gas）を排出しているかを示す指標」のことを指します。

【大気への排出】

四日市工場では、A重油から都市ガスへの燃料転換に伴い、硫黄酸化物排出量の低減を行いました。現在、定期的に各物質の排出状況を測定監視しながら、設備の維持管理に努めています。

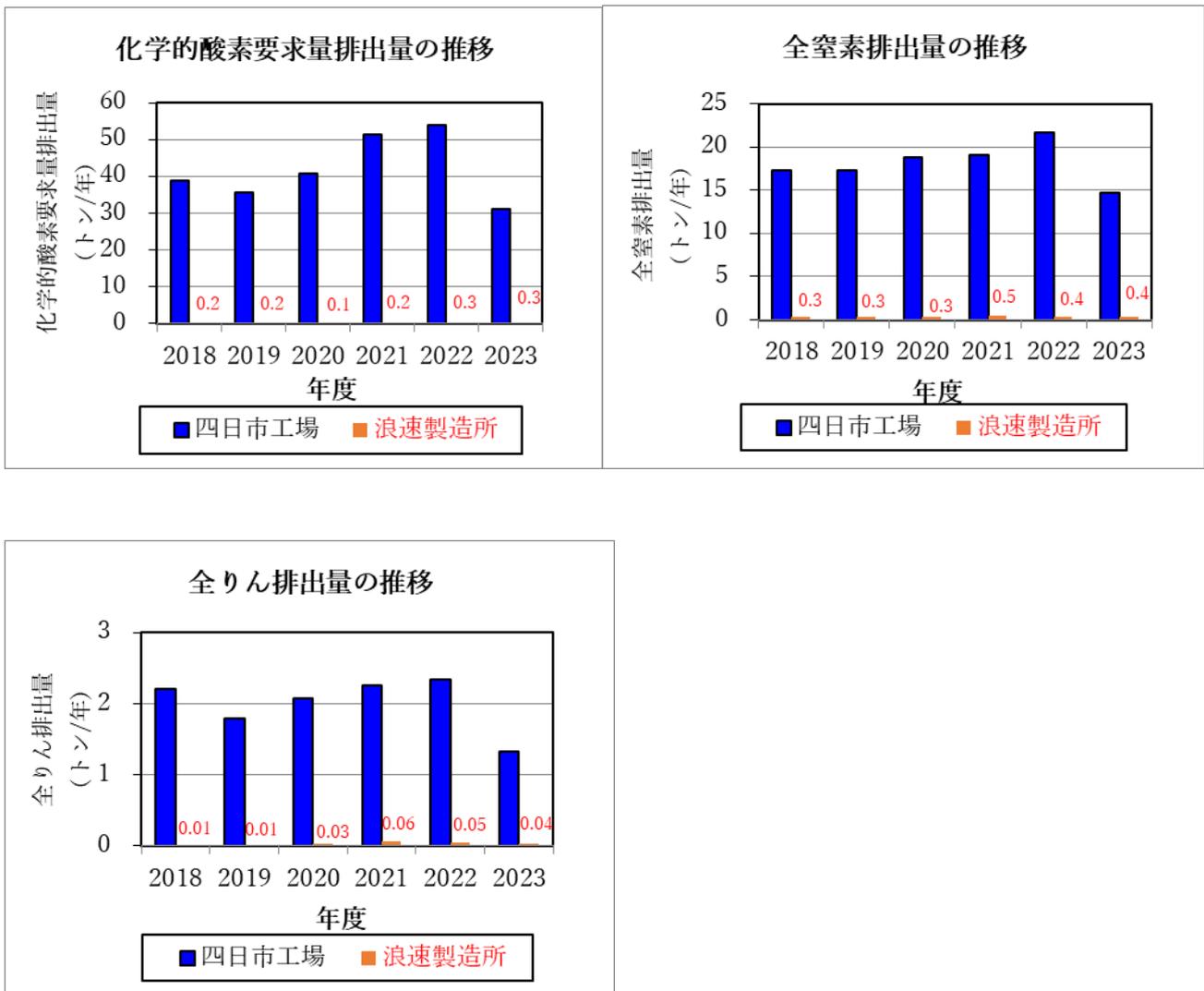


- ※ 佐賀製造所には硫黄酸化物、窒素酸化物及びばいじんを排出する施設はありません。
- ※ 「P R T R 排出量等算出マニュアル」の留意事項「定量下限値未満の場合には、定量下限値の1/2とみなして算出」に基づき、2016年度より四日市工場データの計算方法を見直しました。
- ※ 硫黄酸化物（SO_x）とは、「石油や石炭など硫黄分が含まれる化石燃料を燃焼させることにより発生するものであり、大気汚染や酸性雨などの原因の一つとなる物質」のことを指します。

- ※ 窒素酸化物（NO_x）とは、「空気中で石油や石炭等の物の燃焼、合成、分解等の処理を行うとその過程で発生するものであり、大気汚染や酸性雨などの原因の一つとなる物質」のことを指します。
- ※ ばいじんとは、「石炭や石油系の燃料の燃焼に伴い発生するすす等の固体粒子」のことを指します。

【水域への排出】

四日市工場では、化学的酸素要求量、全窒素及び全りんへの排出量を毎日測定・監視しています。また四日市工場では活性汚泥処理施設を設置しており、微生物による分解処理を行うことにより工場排水の環境負荷低減に大きく寄与しています。

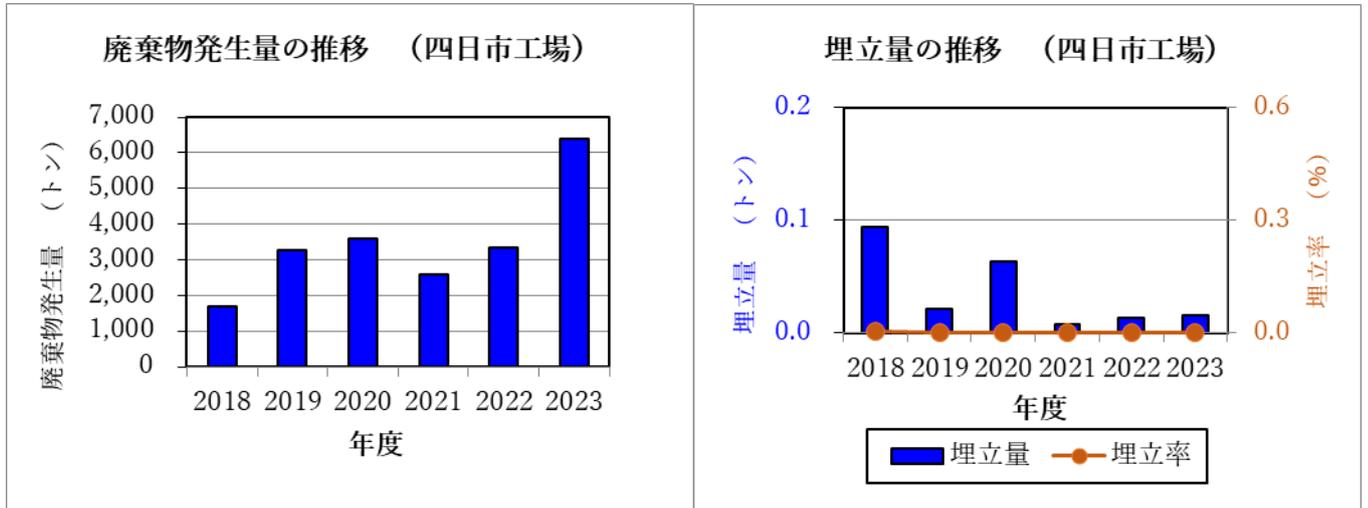


- ※ 浪速製造所からの各排出量は少ないため、グラフ上に数値を記載しています。
- ※ 佐賀製造所からの化学的酸素要求量、全窒素及び全りんの排出はありません。
- ※ 化学的酸素要求量（COD）とは、「海水や河川の有機汚濁物質等による汚れの度合いを示す数値」のことを指します。
- ※ 全窒素や全りんとは、「水の富栄養化の程度を表す指標」のことを指します。

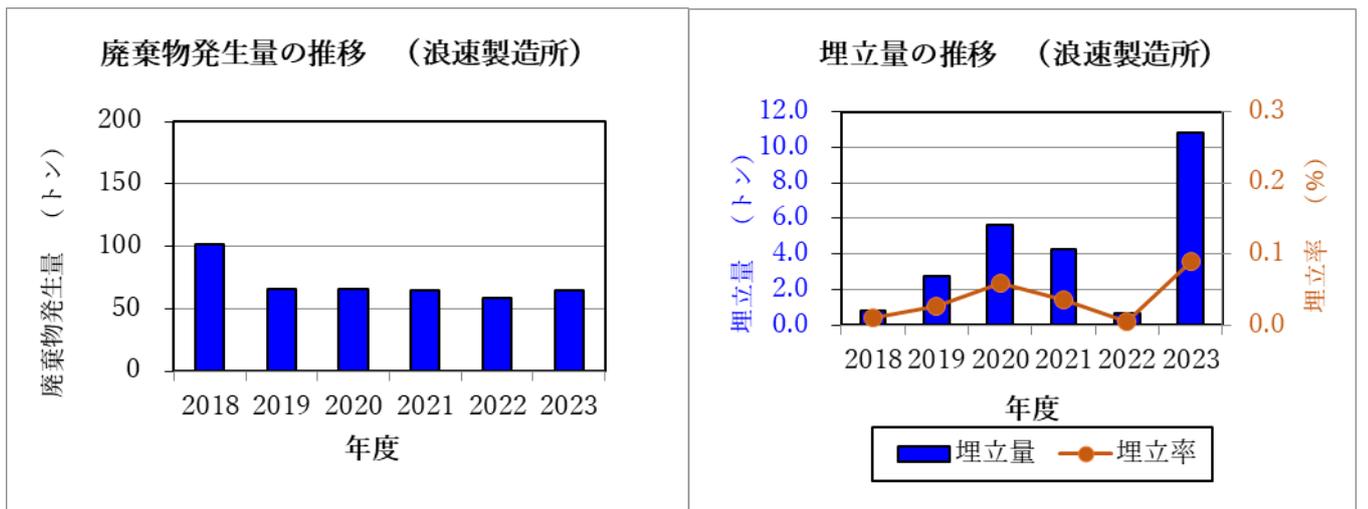
【廃棄物の排出】

四日市工場、浪速製造所及び佐賀製造所から排出される産業廃棄物の埋立率は2013年度からゼロエミッション（埋立率0.3%以下）を継続しています。

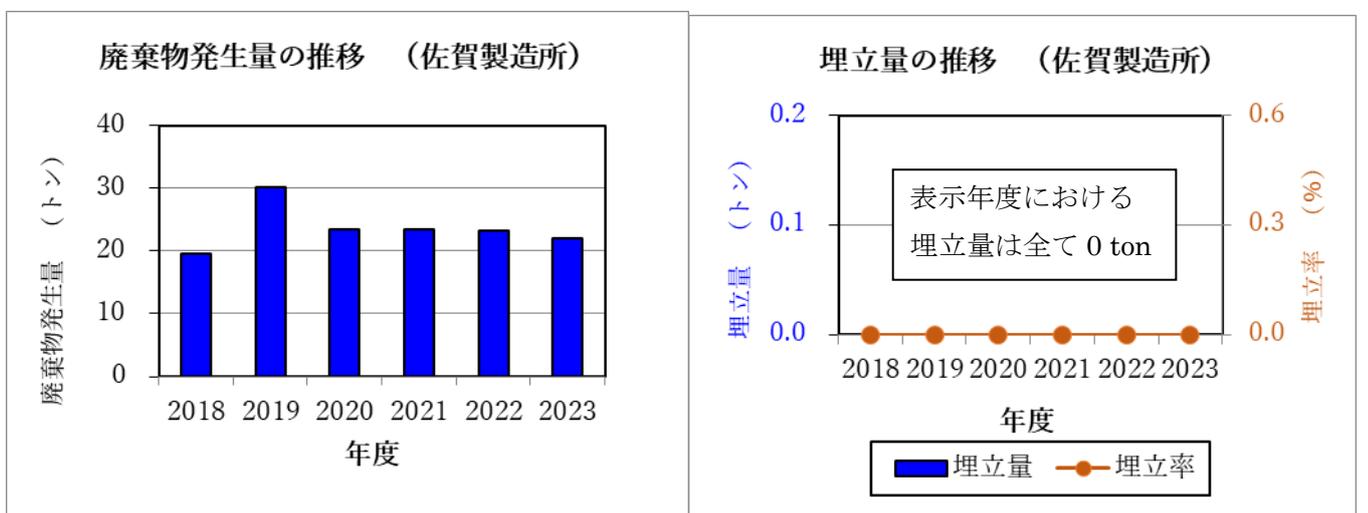
<四日市工場>



<浪速製造所>

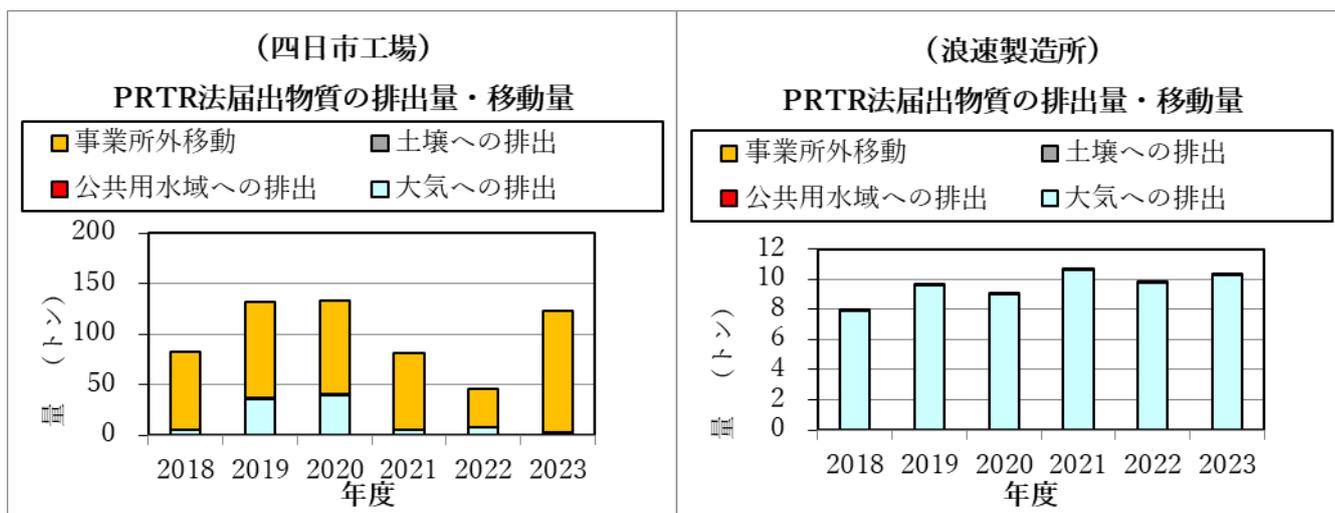


<佐賀製造所>



【P R T R法対象物質の排出】

P R T R法に基づき、工場から環境（大気、水、土壌）に排出される量及び廃棄物に含まれて事業所外へ移動する量の集計結果は以下のとおりです。



※ 佐賀製造所ではP R T R法対象物質の排出はありません。

※ P R T R（化学物質排出移動量届出制度）とは、「有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握し、集計し、公表する仕組み」のことを指します。

地域の皆様とともに

■ レスポンシブル・ケア四日市地区地域対話会



2024年10月17日（木）に「第9回レスポンシブル・ケア四日市地区地域対話会」を日本化学工業協会のRC委員会四日市地区加盟会社（13社）主催のもと、プラトンホテル四日市にて開催しました。

■ 工場周辺清掃

毎月20日ごろに、従業員及び協力会社社員の協力を得て、工場周辺又は工場敷地内の一斉清掃活動を実施しています。



■ 交通安全街頭指導



小学生の通学路になっている交差点で、コンビナート内の近隣2社と共に、毎月1回交通安全街頭指導を行っています。

■塩浜街道美化活動

塩浜地区の皆さんと街道沿いに設置されている植樹柵周辺の美化活動を行っています。





〒510-0886

三重県四日市市日永東2-4-16

三菱ガス化学株式会社 四日市工場

環境保安室 TEL 059-345-8808

FAX 059-347-0799